

平成18年3月17日

各 位

会社名 常 磐 興 産 株 式 会 社
代表者名 取 締 役 社 長 齋 藤 一 彦
(9675 東証1部)
問合せ先 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 田 龍 生
T E L . 0 3 - 3 6 6 3 - 3 4 1 1

平成18年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月25日に公表いたしました平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1.平成18年3月期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1)個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	30,300	800	△1,200
今回修正予想 (B)	28,100	530	△1,740
増減額 (B)―(A)	△2,200	△270	△540
増 減 率	△7.3%	△33.8%	—
前期(平成17年3月期)実績	28,820	623	505

(2)連結

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	48,400	1,100	△1,500
今回修正予想 (B)	45,500	500	△2,100
増減額 (B)―(A)	△2,900	△600	△600
増 減 率	△6.0%	△54.5%	—
前期(平成17年3月期)実績	46,112	1,273	226

2.修正の理由

(個別)

売上高につきましては、燃料商事事業部の石炭部門にて、入札機会の大幅な減少による販売数量減が大きく影響し、予想売上を下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、開発事業部門で賃貸ビル売却により賃料収入が減少し、さらにはレジャーリゾート事業部において前年実績を上回るものの、厳冬等の影響により宿泊ゴルフパックや団体・個人向けの宿泊企画の集客数が予想を下回ると見込まれる結果、前回予想より270百万円減少する見込みとなりました。

当期純損失につきましては、上記の他 建設・土木業の子会社株式の評価損565百万円を特別損失に計上すること等に伴い、前回予想より540百万円増加する見込みであります。

(連結)

経常利益につきましては、観光事業部門の悪化に加え、建設・土木業の子会社において公共事業関連の完工高減の影響もあり、前回予想より600百万円減少し500百万円となり、当期純損失は、前回予想より600百万円増加し、2,100百万円となる見込みであります。

※ 業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上